

令和5年度第2回労働者安全衛生対策部会 追加質問・意見

福島県原子力安全対策課

項目 (資料番号、頁番号等)	専門委員等からの追加意見・コメント	東京電力の回答
<p>資料1-1 資料2-1 資料2-2</p>	<p>福島第一、第二原子力発電所とも、関連会社含め安全対策を取り組み頂き感謝いたします。</p> <p>災害は、不安全な状態と不安全な行動という要因が重なると。85.6%の事象が起こりそこにケガのリスクが出てきます。組織として取り組みされ、不安全な状態を減らす努力は、素晴らしいと考えます。不安全な行動は、ヒューマンエラー、リスクテイキングな行動と人が起こすことであり、従業員への教育（指差し呼称の徹底、適切な作業指示）、日頃の声掛け、本音で話せる職場風土の構築等がキーとなります。現場の管理監督者が、声掛けを徹底できるよう、その時期に合わせた情報を提供（これからは凍結転倒対策等）を引き続き発信していただけたらと考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>四半期毎に実施している不適合・ヒューマンエラー・災害の振り返り や、毎月発信している安全・品質に係わる作業員向けメッセージ、パートナーと弊社カウンターパートとの安全活動などを通じて、現場第一線の作業員一人ひとりに対して、安全・品質意識の啓蒙を進めてまいります。</p> <p>福島第一原子力発電所では、今年度の重点活動である「直前 現場 現物 確認」などを通じた不安全な状態の是正やパートナーと弊社カウンターパートとの安全活動などを通じて現場第一線の作業員一人ひとりに対して安全意識の啓蒙を進めてまいります。</p> <p>また、冬期の転倒・つまずき災害防止キャンペーンを計画中です。</p> <p>福島第二原子力発電所 では、安全所長方針や季節に応じた安全対策の情報発信、不安全な状態を早期に把握・是正するための現場確認等の取り組みを継続し、協力企業含め所内一丸となって災害発生の防止に取り組んでまいります。</p>